



藤木しんや 活動報告



謹んで新春のお喜びを申し上げます。

令和6年は、能登半島地震・大雨被害、食料・農業・農村基本法の改正、自民党総裁選、衆議院解散・総選挙など、激動の年となりました。その中で引き続き自民党「農林部会長代理」と共に、新たに「野菜・果樹・畑作物等対策委員長」を拝命致しました。農林部に設置される課題別・品目別委員会の委員長を拝命するのは、初めてとなります。

令和7年も重要な農政課題が目白押しです。

現在、3月の次期「食料・農業・農村基本計画」の策定（5年に一度見直し）に向けて大詰めの段階です。令和7年通常国会には「食料システムの持続性の確保に向けた合理的な価格形成にかかる法案（仮称）」が提出される予定です。これら農政の最重要課題に農林部会長代理および参議院農林水産委員として、積極的に携わっていきます。

また、3月の次期「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針（酪肉近）」の策定（5年に一度見直し）に向け、畜産・酪農対策委員会事務局次長として、最大限務めて参ります。さらに4月の次期品目別基本方針（果樹、花き、茶）の策定（5年に一度見直し）に向けて、野菜・果樹・畑作物等対策委員長として、最大限務めて参ります。能登半島地震・大雨被害の復興をはじめ、各地で大雨や地震等の災害が発生した際には、全力で取り組んで参ります。

これらの様々な農政課題に対して、生産者が再生産可能となる所得の確保と基幹的農業従事者の減少下げ止めを目指し、唯一の専業農家出身議員として、本年も全力で取り組んで参ります。

引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

参議院議員 藤木真也

令和6年度 農林関連補正予算

11月27日

自民党総合農林政策調査会・農林部会合同会議で案提示

12月17日

国会成立

農林部会長代理として、党会合にて、継続的に「施設整備予算の新設が急務」と意見して参りました。

- 農林関係では、総額8,678億円を確保（前年比496億円増）
新基本計画推進集中対策3,037億円（うち食料安保構造転換対策は2,537億円）
物価高騰影響緩和対策905億円、TPP等関連対策2,449億円
- 施設整備関連予算は、産地生産基盤パワーアップ事業（110億円）に加え、再編集約・合理化する共同利用施設を対象に、「新基本計画実装・農業構造転換支援事業」（400億円）を新設
- 物価高騰等影響緩和対策として、施設園芸等燃料価格高騰対策（29億円）、金融支援対策（125億円）、和牛肉需要拡大緊急対策（170億円）を確保



11月26日 自民党農林役員会で意見

令和7年度 甘味資源作物対策

12月11日

自民党野菜・果樹・畑作物等対策委員会、総合農林政策調査会・農林部会合同会議で決定

野菜・果樹・畑作物等対策委員長として、党内検討および財務当局との折衝の主体として尽力致しました。

【令和7年産交付金単価】 さとうきび：16,860 円 / t（前年比：据え置き） でん粉原料用かんしょ：34,350 円 / t（前年比：+2,010 円 / t）

| | | |
|---------------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 甘味資源作物の生産振興対策 | さとうきび | ハーベスタ等農業機械補修・メンテナンス体制構築支援+さとうきび生産グリーン化支援（合計約 420 円 / t 換算） 土づくり・優良品種への転換支援、生産基盤の整備、担い手・作業受託組織の育成、さとうきび増産基金予算措置 分みつ糖工場の持続的生産体制構築のための施設整備等の支援 等 |
| | でん粉原料用かんしょ | 新品種（こないしん、みちしずく）への転換支援、生分解マルチ導入、省力化農業機械の導入等への支援、 サツマイモ基腐病等の病害虫蔓延防止対策（輪作推進、健全な苗・種イモ供給強化、技術実証等への支援） |
| | 北海道畑作 | 基幹作業の外部化・省力作業機械導入支援、ストックポイント設置による病害虫蔓延防止対策、郵送効率化支援 等 持続的なてん菜生産の今後のあり方について関係者による検討を促進 |



12月10日 JAグループ甘味資源作物代表者集会で挨拶



野菜・果樹・畑作物等対策委員会による現地視察（左：11/30・北海道、右：12/7・鹿児島）



12月11日 野菜・果樹・畑作物等対策委員会で決定報告

令和7年度 畜産・酪農対策

12月24日 自民党畜産・酪農対策委員会、総合農林政策調査会・農林部会合同会議で決定



12月11日畜産・酪農対策委員会 WEB現地意見交換会

畜産・酪農対策委員会事務局次長として、畜産・酪農対策の充実・強化に向けて尽力致しました。

令和7年 加工原料乳対策生産者補給金関連

| 単価 | |
|-----------|--------------------------|
| 生産者補給金 | 9.09円/kg(+0.17円) |
| 集送乳調整金 | 2.73円/kg(+0.05円) |
| ALIC事業 | 0.08円/kg(+0.01円) |
| 合計 | 11.90円/kg(+0.23円) |

| 数量 | |
|-----------|-------------------|
| 対象数量 | 325万t(±0t) |
| 関連対策 | ※18万t(±0t) |
| 合計 | 343万t(±0t) |

※13万t単価は脂肪分のみ、5万t単価は補給金等と同額

| 総額 | |
|-----------|------------------------|
| 補給金等 | 384.2億円(+7.2億円) |
| ALIC事業 | 16.3億円(+0.6億円) |
| 合計 | 400.4億円(+7.7億円) |

令和7年 肉用子牛補償基準価格等

| 保証基準価格 | |
|---------|--------------------|
| 黒毛和種 | 574,000円/頭(+1.0万円) |
| 褐毛和種 | 523,000円/頭(+0.9万円) |
| その他肉専用種 | 334,000円/頭(+0.6万円) |
| 乳用種 | 164,000円/頭(±0円) |
| 交雑種 | 274,000円/頭(±0円) |

| 合理化目標価格 | |
|---------|--------------------|
| 黒毛和種 | 444,000円/頭(+0.2万円) |
| 褐毛和種 | 406,000円/頭(+0.2万円) |
| その他肉専用種 | 259,000円/頭(+0.1万円) |
| 乳用種 | 110,000円/頭(±0円) |
| 交雑種 | 216,000円/頭(±0円) |

令和7年 鶏卵生産者経営安定対策事業

| 保証基準価格 | |
|--------|--------------|
| 補填基準価格 | 230円/kg(+8円) |
| 安定基準価格 | 207円/kg(+5円) |

優良子牛生産推進緊急支援事業(令和7年度 ALIC 事業)

(実施期間: 令和7年4月から令和8年3月まで)

○発動基準を令和6年度より1万円引上げ

| 黒毛和種 | 61万円 | 59万円 | 58万円 |
|-----------|-------|-------|-------|
| 発動基準(税込) | | | |
| 飼養管理向上の取組 | 2つ | 3つ | 4つ |
| 支援金単価 | 1万円/頭 | 2万円/頭 | 3万円/頭 |

※飼養管理向上の取組は、母子共通メニュー5つ、子牛メニュー3つ、母牛メニュー3つより選択

○褐毛和種、その他肉専用種の発動基準(税込)

| | | | |
|---------|------|------|------|
| 褐毛和種 | 56万円 | 54万円 | 53万円 |
| その他肉専用種 | 36万円 | 34万円 | - |

○さらに緊急特別対策を措置(取組に応じ1万円/頭(離島等は5万円/頭))

その他関連対策

○改正畜安法施行後の需給調整のあり方にかかる対応方向

- ① 指定団体による契約違反への対応強化のための省令改正等
 - ・期中の出荷先の変更等にはきちんと契約違反を問えるよう運用明確化
 - ・契約違反を繰り返す生産者からの翌年度分の取引の申し出を拒むことができるようにする
 - ② 全国的に必要な取り組みへの拠出を主要な補助事業への申請要件化
- 畜産クラスター事業において酪農向け事業の再開
 - 令和6年度中にランビースキン病対策の緊急措置
 - 畜特資金を「畜産リノベ資金」に見直し

令和7年度 税制改正

12月13日 自民党税制調査会で最終とりまとめ 12月20日 「令和7年度税制改正大綱」決定

農林部会長代理として、税制調査会の議論に毎回参加し、農林部会要望事項の実現に向け尽力致しました。

【農林部会・税制改正重点要望事項の主な項目】※全て「令和7年度税制改正大綱」に盛り込み

- 農業経営基盤強化準備金制度の2年延長等
- 農業経営の体質強化・生産性向上に向けた中小企業投資促進税制および中小企業経営強化税制の2年延長
- JAの子会社を含む食品事業者と農業者の連携を後押しする中小企業経営強化税制の対象や控除率の見直し
- JA等の合併に関する特例措置の本則化
- JA等が共同利用施設・機械等を取得時の課税標準の特例措置の適用期限の2年延長
- 防衛力強化の財源確保のための法人税の措置における中小法人と同様の配慮措置
- 厚生連の非課税措置に係る収入要件について、その実態を十分踏まえた見直し
- 現行の生命保険料(共済掛金)控除制度を拡充し、自助努力を支援する環境の整備



12月6日 税制調査会 小委員会で見聞



12月13日 税制農林団体報告会で報告

令和7年度 農林関連予算

12月25日 総合農林政策調査会・農林部会合同会議で案提示、1月以降に国会審議予定

農林部会長代理として、党会合にて、継続的に「抜本的な予算拡充が必要」と意見して参りました。

【令和7年度農業関係当初予算の主な項目】※()内は、令和6年度当初予算額

総額 2兆2,706億円(2兆2,686億円) → 令和6年度補正と合わせ3兆1,384億円

- 水田活用の直接支払交付金等 2,870億円(3,015億円)
- 米粉の利用拡大の推進 20億円(新規)
- 持続的生産強化対策事業(野菜・果樹・花き・茶等) 142億円(148億円)
- 強い農業づくり総合支援交付金 120億円(121億円)
- 新基本計画実装・農業構造転換支援事業 80億円(新規)
- 令和6年補正で新設された共同利用施設等の整備予算
- 米穀周年供給・需要拡大支援事業 50億円(50億円)
- 畑作物産地生産体制確立・強化事業 58億円(新規)
- 甘味資源作物生産支援対策 106億円(107億円)
- 畜産・酪農経営安定対策 2,303億円(2,296億円)
- 国産飼料の生産・利用拡大 56億円(新規)
- 収入保険制度の実施 399億円(348億円)
- 輸出産地・事業者の育成・展開 68億円(32億円)
- 持続可能な食品流通総合対策事業 32億円(2億円)
- 農地中間管理機構を活用した農地の集約化の推進 43億円(46億円)
- 農地利用効率化等支援交付金 20億円(11億円)
- 畑作物の直接支払交付金 2,024億円(1,992億円)
- 収入減少影響緩和対策交付金 446億円(419億円)
- 新規就農者育成総合対策 107億円(96億円)
- 野菜価格安定対策事業 156億円(156億円)
- 農業農村整備事業 3,331億円(3,326億円)
- 農山漁村振興交付金 74億円(84億円)
- 鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進 100億円(100億円)
- みどりの食料システム戦略促進事業 17億円(18億円)
- 日本型直接支払交付金関係 813億円(773億円)
- うち
 - 多面的機能支払交付金 500億円(486億円)
 - 中山間地域等直接支払金 285億円(261億円)
 - 環境保全型農業直接支払交付金 28億円(26億円)



11月22日 JAグループ 代表者集会



12月23日 農林関連会合で意見

藤木しんやプロフィール

自由民主党での役職

農林部会部会長代理
 農林部会野菜・果樹・畑作物等対策委員会 委員長
 農林部会畜産・酪農対策委員会 事務局次長
 食料安全保障強化本部 事務局次長
 参議院自由民主党政策審議部次長

参議院所属委員会

決算委員会 理事
 東日本大震災復興特別委員会 理事
 農林水産委員会
 災害対策特別委員会
 憲法審査会

これまでの主な役職

農林水産大臣政務官(2回) 自由民主党 農林副部会長
 参議院 議院運営委員会 理事 自由民主党 農林部会畜産酪農対策委員会 事務局次長
 参議院 農林水産委員会 理事 自由民主党 農林水産災害対策委員会 事務局次長
 参議院自由民主党 国対副委員長 自由民主党 中央政治大学院 副学院長
 参議院自由民主党 副幹事長

藤木しんや後援会



〒101-0054 東京都千代田区
 神田錦町1-23 宗保第2ビル3階
 TEL:03-6262-9936 FAX:03-6262-9937



〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
 参議院議員会館1006号室
 TEL:03-6550-1006 FAX:03-6551-1006

藤木しんや ホームページ <https://www.fujiki-shinya.com>



藤木しんやの活動をタイムリーに発信!

藤木しんや フェイスブック



<https://www.facebook.com/fujikishinya.kumamoto/>



藤木しんやLINE 公式アカウント

